

2015年度～2017年度

「いきいき生活支援員」に多く見られる「”ならでは”の働き」の見える化に向けての調査

(街かどケア滋賀ネット ダイトの福祉財団第14回、15回、16回障害者福祉助成 京都新聞福祉活動
支援助成)

介護の場で食事の準備や後片付け、掃除や洗濯などを行いながらレクリエーションや外出等に参加し、おとしよりと自然に飾らずふれあう中、おとしよりに安心感やゆったり感、生活感や日常感をもたらすことが多く報告されてきたことはこれまでに述べてきたところである。

そして「“ならでは”の働き」と名付けた知的障害のある人たちの働きを、抽象的な言葉や文字ではなく、「見える化(客観化)」し、知的障害のある人とない人の働きの違いを明確化することで介護現場での就労を促進し、地域・共生社会の実現をはかることを目的として2015年より調査研究を進めることとなった。

そこで2015年度は、この「“ならでは”の働き」の「見える化」についての予備調査を行い、適切な調査項目・内容や調査方法、分析方法等を導き出した。

翌年、その形式で行う本調査では、「ゆったり感」に絞った調査を行い、「“ならでは”の働き」をより客観化することとした。

そして、2017年度は撮影の時間設定、場所設定を厳密に行い、比較検討が出来るように障害のないスタッフを被写体とした場面の追加撮影を行った。

- | | | |
|-------|------|-------------|
| ①調査時期 | 予備調査 | 平成28年1月～2月 |
| | 本調査 | 平成28年9月～11月 |
| | 追加調査 | 平成29年7月～9月 |

- ②調査場所(事業所種別)…大規模施設(入所施設)1、中規模施設(デイ)1、小規模施設(在宅)2
- ・規模やサービス種別に偏りが無いようにして、大規模・小規模、施設・デイサービスと選んだ。
 - ・在宅系サービスは3ヶ所、施設系(入所)サービスは1ヶ所とした。
 - ・対象事業所の地域・圏域は考慮していない。

③調査事業所

- | | |
|------------------|-------------------|
| デイサービス和 | (滋賀県大津市山百合の丘5番1号) |
| 特別養護老人ホーム ヴィラ十二坊 | (滋賀県湖南市岩根690番地の4) |

小規模多機能型居宅介護事業所 心 (滋賀県草津市駒井沢町 246-1)

小規模多機能型居宅介護事業所 秋桜舎(滋賀県湖南市石部東一丁目 9 番 26 号)

④調査対象者

上記 4 事業所にて働くいきいき生活支援員、障害のないスタッフ、利用者(おとしより)

⑤調査の実施内容

ア.調査方法

・ビデオ撮影調査…「ゆったり感」にポイントを絞って撮影を行った。

その人一番のゆったりシーン、おとしよりとの関わりの場面を中心に撮影した。

比較対象となるように障害のないスタッフについても撮影した。

・ヒアリング調査…「ゆったり感」についてのヒアリングを行った。

⑥分析方法

分析方法は、ビデオ撮影内容の客観分析と主観分析とした。前者の分析対象と、後者の分析項目を龍谷大学の先生方に検討いただき、各施設のビデオ撮影内容を各2名の評定者で分析した。

客観分析については、分析対象の動作回数や動作継続時間を測定した。これらについては評定者間で確認し、一致した数値を最終データとした。主観分析については、2名の評定者ごとに分析項目にそって評定し、後に評定者間の一致度を k 係数で示した。

本研究は、龍谷大学「人を対象とする研究に関する倫理審査」(2016-01)の認証を得ている。